

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

デンカ株式会社（証券コード:4061）

【見直し変更】

長期発行体格付 A
格付の見直し 安定的 → ポジティブ

【据置】

債券格付 A
発行登録債予備格付 A
国内CP格付 J-1

■ 格付事由

- カーバイド系事業を発祥とする化学会社。中核の青海工場は、石灰石や水力発電などの豊富な自社資源を強みとする。世界シェアトップのクロロプレンゴム（CR）、熔融シリカのほか、電子包材用シート、医薬関連製品など幅広い製品を手掛ける。現経営計画では、事業ポートフォリオの変革を成長戦略の一つに掲げ、世界で競争力を有し、外部環境の変化の影響を受けにくいスペシャリティー事業の拡大に努めている。自社のスチレンチェーンやカーバイドチェーンの生産体制の見直しなど、構造改革にも注力している。
- 近年、利益水準は上昇している。主力のCRは、米国拠点の買収を通じた事業基盤の強化などにより、業績貢献度が増している。好採算の半導体封止材向け熔融シリカや球状アルミナは、旺盛な需要を背景に販売量が伸びている。不採算分野の構造改革も継続的に実施されており、業績の安定度が高まっている。また、利益の資本蓄積が進む中、財務構成も着実に改善している。以上を踏まえ、格付は据え置きとするが、見直しをポジティブとした。
- 19/3期売上高4,100億円（前期比3.6%増）、営業利益360億円（同7.0%増）と、いずれも2期連続で過去最高を更新する計画である。セメントや肥料など販売が弱含む製品もみられるが、医薬関連製品が下支えするほか、CRや球状アルミナを始めとする自動車部品や電子部品向け製品の堅調な推移が見込まれる。スペシャリティー事業の拡大や生産体制の最適化などで、利益水準の定着を図れるかが注目点である。
- 18/3期末の自己資本比率50.3%、DER0.45倍であるなど、財務体質は健全である。自己資本は15/3期末に2,000億円を超え、18/3期末には2,390億円に増加している。フリーキャッシュフローは10/3期以降プラスが維持されている。現経営計画では、19/3期以降の5年間で計2,000億円の投資を行う計画だが、これまで同様、営業キャッシュフローで賄える水準と想定される。今後も財務の改善基調を維持できよう。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

■ 格付対象

発行体：デンカ株式会社

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A	ポジティブ

【据置】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2015年3月4日	2020年3月4日	0.312%	A
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2017年9月12日	2024年9月12日	0.270%	A
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150億円	2018年4月23日	2025年4月23日	0.280%	A

対象	発行残高の上限	発行予定期間	予備格付
発行登録債	600 億円	2018 年 3 月 30 日から 2 年間	A

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	250 億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2018 年 10 月 4 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「化学」(2012 年 3 月 26 日) として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) デンカ株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル